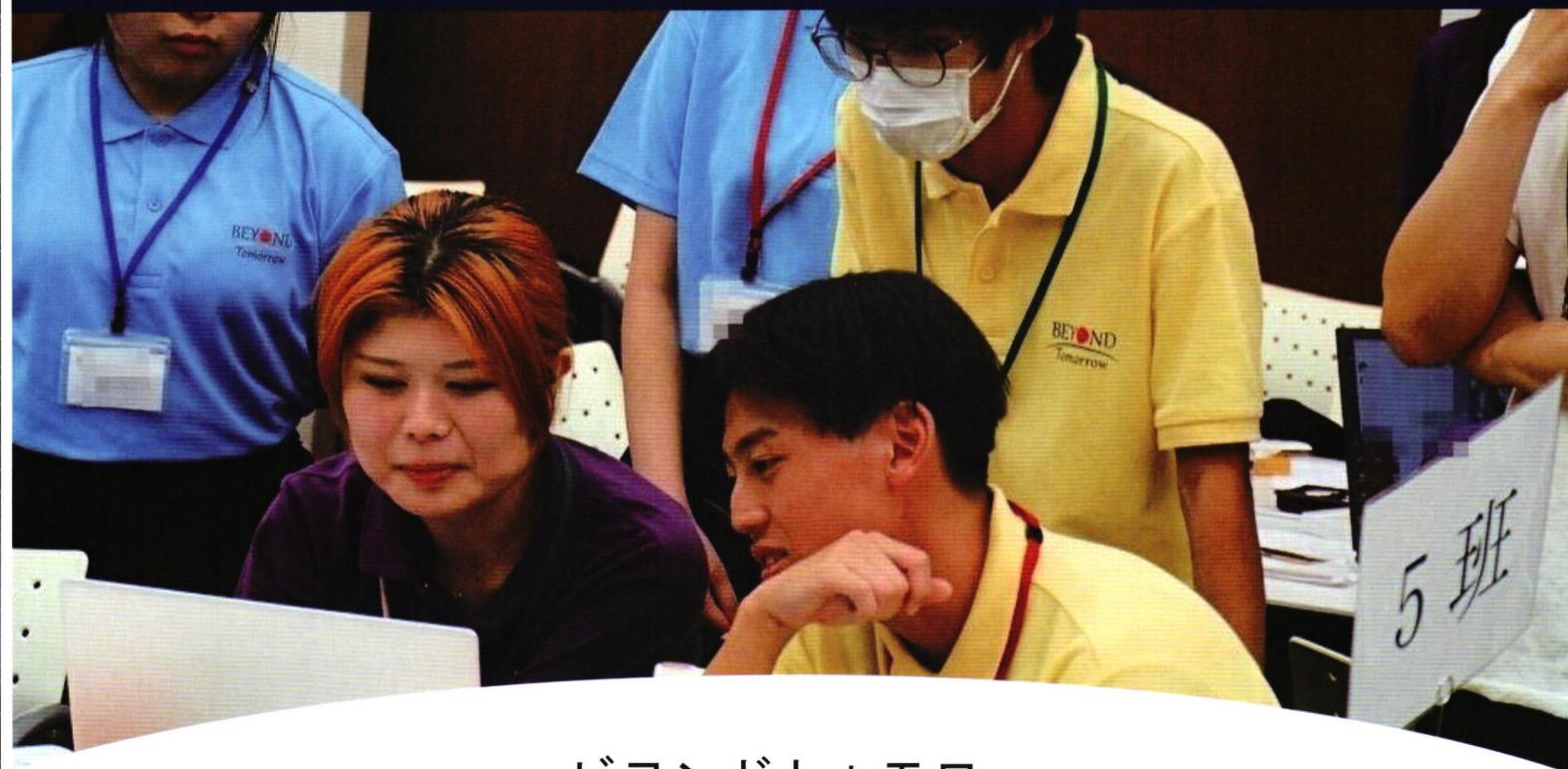


逆境を力に。 仲間と描く私たちの未来。



ビヨンドトゥモロー ジャパン未来スカラーシップ・プログラム 【2026年度奨学生募集】 返済不要・給付型奨学金

内容

年間50万円の奨学金（返済不要・給付型奨学金）
年間を通じて国内外で開催される人材育成プログラムへの参加
(一部オンライン開催含む)

対象者

2026年度に大学・短大・各種専修学校に進学予定（現高校3年生、浪人生）で
下記の条件の一つ以上に該当する者。※詳細は応募要項をご覧ください。

- ①親が死亡している。
- ②ひとり親家庭にくらしている（母子家庭、父子家庭など）。
- ③児童養護施設や里親家庭などの社会的養護施設に暮らしている。
- ④生活保護受給世帯に暮らしている。

応募方法

2026年10月5日（日）郵送必着、またはGoogle formを通して提出
(応募用紙は<https://beyond-tomorrow.org>からダウンロードできます)

選考方法

1次選考 書類選考
2次選考 面接 12月7日（日）
※遠方からの受験者には財団規程に基づき交通費を支給

ビヨンドトゥモローは、親との死別・離別を経験したり、児童養護施設に暮らして いたり、社会経済的に困難な状況にありながらも、人や社会に貢献する志を持つ若者を応援します。



小学生の頃に母を亡くし、父とも離れ、祖母に育てられました。他人の家庭に触れるのが嫌で、他人と違う環境にいる自分を強く意識し、恥ずかしく思っていました。ビヨンドトゥモローに参加し、「ビヨンドナイト」で仲間の語りを聞いたとき、単なる過去の体験の共有ではなく、想いと気づきの共有だと気づきました。自分の過去も言葉にすることで、過去を受け入れ、力に変えられることを実感しました。仲間と意見を交わす中で、ぶつかる場面も多くありましたが、相手と深く対話することで、意見が融合し、新たな答えにたどり着きました。今では「人と違う自分」を受け入れ、それを自分の強みにできるようになりました。

戸塚雄二（仮名） 都内大学政治経済学部



私は高校1年生の時、両親の離婚と児童相談所での一時保護を経験し、その後は1年間の一人暮らしを余儀なくされました。生活の不安定さや誰にも頼れない孤独感、そしてストレスから不登校になりました。ビヨンドでの対面プログラムや海外プログラムへの参加を通して、どこにいても、どんな事情を抱えていても、人は学び、挑戦することができると考えられるようになりました。私はこれからも学び続け、同じような境遇にある人たちに、勇気を与えられる存在でありたいです。

長田朱音（仮名） 都内大学総合政策学部

主な事業内容

【奨学金事業】

高校卒業後、進学を志す者を対象に選考試験を実施し、奨学金を支給してきました。学力のみに依らない、多様な視点から人物を評価する選考を実施しており、進学先は様々で、進学先の学問領域も多岐に渡ります。

【人材育成事業】

困難な体験をもつ学生がその経験を糧に、他者の心の痛みに寄り添い、人のため社会のために尽力できる人材になる過程を応援すべく、年間を通して人材育成プログラムを国内外で開催してきました。

＜これまでの人材育成プログラムの例＞

夏季グローバル研修（米国等／ジャパン未来リーダーズサミット（東京）／スピーカーセッション（オンライン開催）



逆境にある若者を応援するのは、困難を経験したからこそ、他者の心の痛みに共感し、社会のために行動する資質を有していると信じるから

